

## セキュリティ用語説明

- 2 デジタルリモコン**  
 コード数7,378京通、操作距離約20m。ローリングコードを採用しコード自体の不正コピーを防止します。
- 3 ローリングコード**  
 リモコン操作をするたびにコードが変わり、コード自体の盗難を防ぎます。
- 12 威嚇用LED**  
 システム警戒中に点滅、警報を発した場合には急点滅へ変わり、異常があった事を知らせます。また、機能選択時やリセットコードなどの登録時にも使用します。
- 13 チャープ音動作確認 (選択式)**  
 システムのセット/解除時にチャープ音で動作確認ができます。チャープ音を出さずに操作することも可能です。
- 14 アンサーバック機能**  
 アンサーバックモデルでは、システムのセット/解除はもちろん、車の異常も手元へ通知されます。(通信状態等によりアンサーバックしない場合もあります。異常はセクターごとに異なった表示で知らせてます。エンジンスターターやターボタイマーの併用時には、エンジンの始動状態も通知されます。)
- 15 メモリー機能**  
 被害に遭遇し警報を発した場合、それを記憶し解除時にLEDの急点滅でレポートします。
- 16 セクターメモリー**  
 1460, 1480, 640H, 540Hシリーズでは、異常を検知したセクター(センサー、イグニッション、ドア)をLEDの点滅回数でレポートします。
- 17 ハイセキュリティ・サイレンストップ**  
 サイレン発報中に、リモコン操作でサイレン音だけを止め、システムを解除しません。サイレン音停止の5秒後から再び警戒を始めます。
- 18 オートアーム (AA) 機能 (選択式)**  
 エンジンが停止し、ドアの開閉から20秒後にシステムを自動的にセットします。セット時の動作は、チャープ音動作確認、ハザードフラッシュ、アンサーバックのみで、ドアロックは作動しません。(1460+318-16Rはドアロックします。)
- 19 オートリアーム (AR) 機能 (選択式)**  
 システム解除後、60秒間ドアを開けないと再び自動的にセットになります。オートリアームでは、通常セットと同様にアンサーバックやドアロックなども行われます。
- 20 パニックサイレンモード**  
 緊急時にリモコンのボタンを数秒間押し続けることで強制的にサイレン警報を発することができます。パニックサイレンは30秒間またはリモコンで停止するまで鳴りつづけます。
- 21 エラーチャープ®**  
 システムセット時に、半ドアまたはセンサーが反応している場合には、2回のチャープ音で知らせます。エラーを検知したセクターは、正常な状態に復帰するまで無視されます。
- 22 セクターバイパス® 迷惑防止回路 (SBS)**  
 同じセクターが異常を検知し所定の回数だけ作動した場合、それ以降そのセクターは無視されます。一度システムを解除し再度セットすることで初期状態に戻すことができます。
- 23 強制解除**  
 専用リモコンの紛失や電池切れなど万が一の場合でも、システムを強制的に解除することができます。
- 24 リセットコードプログラミング**  
 強制リセットに必要なリセットコードを任意に選ぶことが可能なため、第三者に解除される心配がありません。
- 25 エンジンスターター、ターボタイマー装着車対応 (選択式)**  
 オートライト消灯機能付きエンジンスターター装着車では必ずエンジン停止前にセキュリティを解除する必要があります。  
 ※セキュリティ本体にはリモートスタート機能は内蔵していません。
- 49 リモートスタート中確認動作 (選択式)**  
 エンジン始動状態をハザード(スモール)の点滅または点灯で知らせます。
- 28 サイレントモード™**  
 システムが異常を検知した場合でも、ハザードフラッシュ機能のみを行いサイレンによる警告、警報を発しません。アンサーバックモデルでは通知機能が働きます。近所迷惑が心配な集合住宅地に最適な機能です。
- 29 (ショック) センサーバイパス® モード**  
 ショックセンサー、オプションセンサーだけを無視し、不正なドア開け、エンジン始動のみを監視します。センサーの誤報が心配な場所で有効な機能です。
- 30 ダイレクト・ドアロック**  
 セキュリティを作動させることなく、リモコン操作で任意にドアのロック/アンロック(ハザードフラッシュ付)のみコントロールできます。
- 31 バレーモード®**  
 セキュリティーを動作しないようにするモードです。車検など、一時的に第三者へ預ける場合にご利用頂く便利な機能です。
- 33 DIGI∞LINK® (デジタルリンク) (特許取得済、PATENTED)**  
 車両に搭載されているCAN-BUS(デジタル通信)システムを利用した接続方法です。取付後のトラブルや誤作動が大幅に低減しスムーズな動作を実現します。
- 35 ドアオープンプロテクト**  
 ドアをこじ開けられた場合に30秒間警報を発します。車種により、オプションのダイオードや独立ドア配線キットを使用した複数箇所への配線作業が必要な場合があります。
- 36 イグニッションプロテクト (選択式)**  
 不正なエンジンの始動を検知すると30秒間警報を発します。エンジンスターター/ターボタイマーと併用する場合は、スターター対応(IIPをON)に設定する必要があります。
- 37 インテリジェントIGプロテクト® (IIP)**  
 エンジンスターター対応中でも不正なエンジン始動から車をガードします。エンジンスターター対応モードが選択されていても、ドア開けなどを検知して一度でも警報を発すると、それ以降システムをOFFにするまでは常にエンジン始動を検知して警報を発します。
- 38 デュアルプロテクト®**  
 センサーが軽度な異常を検知した場合には5回の警告音とハザードフラッシュ、センサーが重度な異常を検知した場合や不正なドア開け、エンジン始動を検知した場合には、30秒間の警報音とハザードフラッシュで威嚇、撃退します。
- 41 スターターキル・イモビライザー**  
 セキュリティ作動中はエンジン始動できません。(輸入車には取付できません。)  
 (イモビライザーとはエンジンを始動できなくするしくみのことです。)
- 43 GWA® (車両コントロール) 出力**  
 デジタル傾斜センサーやスターターキル・リレー、ルミネーターなどを追加するための出力です。これらオプションパーツの複数接続も可能です。
- 44 ハザード (緊急) フラッシュ® 機能**  
 セット/解除時や警告・警報時に車のハザードランプ又はスモールライト(車種により896H-1CNリレーが必要)を点滅させる機能です。
- 45 ドアロックコントロール出力**  
 セット/解除に連動してドアのロック、アンロックをするための出力です。システムの種類や車種により、318-16R、318-16MZ、316-12などのオプションが必要です。 ※純正アラーム装着車では利用できません。
- 47 解除点灯 (イグステリアイルミネーション) 機能 (選択式)**  
 システム解除時にハザード(スモール)を点灯させる機能です。30秒経過するか、ドアを開けることで消灯します。
- VAS**  
 2006(H18)年7月1日より新保安基準の運用が開始されました。検査機関の適合証明書をもとに自動車用品工業会が発行する自主基準の呼称です。
- Eマーク**  
 安全基準国際規制の認証。欧州では自動車EMC指令への適合証明が強制とされ車両に搭載される部品に対してEマークが義務付けられています。